

機械器具 06 呼吸補助器
管理医療機器 呼吸回路セット 70566000
(麻酔回路セット 70567000)

MPI ジャクソンリース回路

再使用禁止

【警告】

- 1.麻酔回路として使用する場合は、余剰医療ガス排出キットを麻酔器の余剰ガス回収装置に確実に接続すること
[接続が不十分な場合、大気中に麻酔ガスが拡散し使用者に健康被害を与える恐れがある]
- 2.呼吸回路として使用する際、何らかの理由で本品の正常な作動が得られない場合は、マウス・トゥ・マウス等、別の方法で人工呼吸を行うこと。

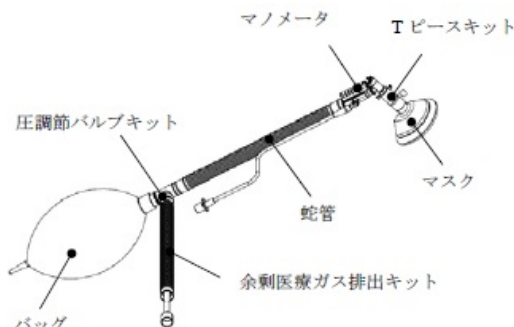
【禁忌・禁止】

使用方法

- 1.再使用禁止。
- 2.マノメータは吸気圧測定の目的以外に使用しないこと。
- 3.医療ガスの供給を行っている時は火気を使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

形状



バッグ容量：0.5L／1.0L／2.0L／3.0L

原材料：

- 1.マスク：ポリ塩化ビニル／ポリプロピレン
- 2.T ピースキット及びマノメータ：ポリ塩化ビニル／ポリプロピレン／ポリカーボネイト／ステンレス鋼
- 3.蛇管：エチレン・酢酸ビニル共重合樹脂／ポリエチレン
- 4.圧調節バルブキット：シリコーンゴム／ポリカーボネイト／ポリプロピレン
- 5.余剰医療ガス排出キット：ポリ塩化ビニル／ポリプロピレン／酢酸ビニル共重合樹脂
- 6.バッグ：ポリクロロブレン（ラテックスフリー）／ポリエチレン

作動・動作原理

ガス・チューブより送られた医療ガスが、T ピースキットとマスクを経由して患者に送気される。また余剰医療ガス排出キットにより呼気ガスが排出される。

【使用目的又は効果】

人工呼吸器及び麻酔器等の医療ガス供給源からの医療ガスを患者に送気すること。

【使用方法等】

1.使用前の準備

- (1) 構成品が揃っていること、及び破損がないことを確認する。
- (2) 各接続部に緩みがないか確認し、確実に接続する。
- (3) ガス・チューブを医療ガス供給源に接続する。麻酔回路として使用する場合は、余剰医療ガス排出キットを麻酔器の余剰ガス回収装置に接続する。
- (4) ガス供給源からの流量を、患者の状態に合わせて適切に調整する。
- (5) 圧調節バルブキットを回して、回路を全閉鎖にする。
- (6) バッグの膨張、及び回路の閉塞の有無を確認する。
- (7) 流量をチェックし、圧調節バルブを回して臨床上必要となる流量と圧になるように調整する。

2.使用中の操作

- (1) T-ピースにマスクを取り付ける。
- (2) マスクを患者の口及び鼻を覆うように装着する。必要に応じてストラップをマスクに取り付け患者に固定する。
- (3) 医療ガスの供給を開始する。バッグを右手にて加圧しバッグ内の医療ガスを患者に供給する。
- (4) 必要に応じて圧調節バルブを回し、医療ガスの供給・排出量を調節する。

3.使用後の処置

- (1) 医療ガス供給源からガス・チューブを取り外す。麻酔回路として使用した場合は、余剰医療ガス排出キットを麻酔器の余剰ガス回収装置から取り外す。
- (2) 本品は一回限りの使用で再使用はできない。使用後は廃棄する。

使用方法に関連する使用上の注意

- 1.使用前に必ず破損の有無、接続部からの漏れの有無を確認すること。
- 2.正常な作動を確認してから使用すること。
- 3.使用中にバッグやチューブに折れや捻れ等ないか確認すること。
- 4.使用中は患者の状態を常に確認すること。異常がみられる場合は本品の使用を中止し、マウス・トゥ・マウス等別の方法で人工呼吸を行うこと。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- 1.滅菌しないこと。
- 2.麻酔装置や監視装置、あるいは回路が原因でガス漏れが生じることがあるため、各種モニターには絶えず注意を払い、異常があれば直ちに原因解明に努めること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

- 1.本品は高温多湿や直射日光を避け、水濡れに注意し、清潔な場所に保管すること。
- 2.オイル等に触れないように保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>
株式会社エム・ピー・アイ
TEL : 03-3451-6501

<製造業者>
株式会社エム・ピー・アイ